

令和6年度感染症対策委員会会議録			
開催日時	令和6年11月8日（金）午後3時から午後5時まで		
開催場所	はぐくみセンター 3階 大会議室		
出席者	委員	加藤委員、西浦委員、笠原委員、玉置委員、木野田委員、島本委員、東條委員、小島委員、鈴木委員【計9人出席】	
	事務局	西浦課長、他保健予防課職員	
開催形態	公開（傍聴人 0人）	担当課	健康医療部保健所保健予防課
議題 又は 案件	1 結核に関する事項 2 エイズ等性感染症に関する事項 3 その他感染症の発生状況等に関する事項		
決定又は 取り纏め 事項	感染症に関する現状や、今後の対策方針等を検討する上での提言を頂いた。		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
1 結核に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より結核の現状、結核に対する施策、令和7年度結核対策事業計画（案）について、3つの観点（原因の究明・発生の予防及びまん延の防止・医療の役割）から資料を基に説明。 ・委員より奈良県の結核診療の現状として、患者が高齢者と外国出生者の二極化していることや高齢患者では治療に難渋する症例が増えていることについて、情報提供があった。 ・委員より高齢者施設等も含めて、患者を中心に医療と行政が協力して結核治療に取り組んでいく必要があるとの意見があった。 ・委員より入国前スクリーニングの開始予定や結核高蔓延国からの入国者の結核感染の推定についての情報提供、提言があった。また外国出生者への結核対策として、入国前の健診はもちろん、入国後に治療を受ける患者へのDOTSを確実にを行い、治療を完遂させることが重要であると意見があった。 ・委員より近隣府県とのVNTRの共有やゲノム解析による分子疫学的な取り組みが今後期待されるという意見があった。 ・委員より結核の診断の遅れを回避するための対策として、健診システムの見直しや結核を念頭においた診療について医師会等への普及・啓発を行うこと、高齢者施設職員への研修会が有効であると提言があった。 ・委員より奈良県の感染症予防計画における結核対策の目標値や取り組み内容について情報提供があった。 			

	<p>2 エイズ・性感染症に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より HIV・性感染症の現状、若年層への取り組み、保健所での検査の状況、エイズ・性感染症における今後の取り組み（案）について資料を基に説明。 ・委員より今年度新たに取り組んだ若年層への啓発事業について、これまでの取り組みの評価や今後の展開について意見があった。 ・委員よりエイズ拠点病院における現状や取り組みの情報提供と、患者としては多くないため県内医療機関や保健所等で HIV の現状や取り組みを共有する機会を設ける必要があると提言があった。 <p>3 その他感染症の発生状況等に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から感染症予防啓発の取り組み及び感染症対応事例について資料を基に説明。 ・委員から地域における感染症対策の取り組みは有意義であり、行政はもちろん地域を巻き込んだ体制づくりに繋がる取り組みが必要であるとの意見があった。 ・委員より海外からの渡航者への診療や輸入感染症について、医療機関における現状や医師の認識についての情報提供があった。 ・委員より麻しん事例対応の振り返りに対して、感染性の考え方や、振り返りによる分析と体制整備が重要との意見があった。
<p>資 料</p>	<p>【資料1】結核について</p> <p>【資料2】エイズ・性感染症について</p> <p>【資料3】その他の感染症について</p> <p>【参考資料1】エイズ・性感染症について</p> <p>【参考資料2】その他の感染症について～感染症発生動向調査について～</p>